

土浦普及センターだより

平成28年 2月24日 No. 40
茨城県県南農林事務所 経営・普及部門
(土浦地域農業改良普及センター)
土浦合同庁舎第2分庁舎3F
土浦市真鍋5-17-26
電話 029-822-7242
FAX 029-822-7370
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nannourin/keiei/tsuchiura/index.html>



グラジオラスの需要拡大に向けて

いばらきの花振興協議会と茨城県グラジオラス研究会は、平成二十七年十月七日、八日の二日間、ホテルマロウド筑波とJA土浦今泉共撰部会圃場にて「グラジオラス産地交流会」を開催しました。

グラジオラスの全国規模の交流会は初めての取り組みで、国内のグラジオラス主要産地である茨城県、長野県、鹿児島県の農家、JA、公的機関及び実需者など、グラジオラスの生産から流通に携わる関係者八〇名が参加しました。七日はホテルで産地間検討会・講演会・意見交換会、八日は圃場で現地視察を行いました。

産地間検討会では各産地から生産・販売概況について説明されたほか、市場からはグラジオラスの需要動向について、県内研究機関からはグラジオラスの生理生態・育種の取り組みについて説明されました。講演会では仲卸業者からグラジオラスの使用実態と消費拡大について、種苗会社からは球根情勢と品種紹介がありました。限られた時間ながらも、グラジオラスの生理生態、生産から流通に至るまで幅広い内容で情報交換、共有が行われました。

その後の意見交換会では、グラジオラスの需要拡大をテーマに様々な意見が交わされました。リレー出荷

や色の統一、三県が連携した需要拡大の取り組みの必要性などの意見があり、次回に具体的な取り組みについて話を進めることとなりました。

二日目の現地視察は、JA土浦今泉共撰部会の久家源一氏と萩島一郎氏の圃場で実施され、経営概況や取り組み、今後の展望などの説明を受けました。参加者からは実際の栽培の様子や、栽培で苦労している点についてなど様々な質問があり、有意義な意見交換が行われました。

本交流会では、初めて相互交流を行った産地もあり、若手農家コミュニティの創設や、出荷団体の枠を超えた交流、情報交換などが実現するなど、新しいネットワークが構築され、有意義な会となりました。

今後は交流会を継続開催し、三県連携してグラジオラスの需要拡大に向けて取組んでいく予定です。当普及センターでは、今後もグラジオラス消費拡大につながる農家の取り組みを支援していきます。



茨城県オリジナル品種
「常陸はなよめ」

つくば国際大学の学生と
食農ふれあい交流会を開催
(土浦地域女性農業士会)



交流の様子

土浦地域女性農業士会は、平成二七年十一月十九日、つくば国際大学医療保健学部保健栄養学科の学生三五名を対象に「食農ふれあい交流会」を開催しました。この交流会は、将来、栄養士として活躍する「栄養士のたまご」に、食と農の関係について知ってほしいというねらいで始め、今年で四年目となります。

今年は、農村地域の行事である「まち」をテーマとして、郷土料理の調理実習を行いました。「まち」とは、十一月に農産物の収穫を祝う行事で、地域の人たちが集まり郷土料理を囲んで食事をするものです。女性農業士が生産した農産物を用いて、赤飯、玉子寒天、煮しめ、のっ



六品の郷土料理

ぺい汁、れんこん丸煮、白和えの六品を調理しました。調理時に女性農業士から、レンコンは蓋を開けて加熱するとシャキシャキと、蓋を閉めるとモチモチとした食感になるといった調理方法の説明などがありました。また、試食時には、農産物の育ち具合は、天候の影響を受けることなどについて説明があり、栄養学科の学生が農業の実態を知る機会にもなりました。

学生からは「地元農産物について調べてレシピに取り入れていきたい」や「レンコンをすりおろすことで片栗粉の代用ができるのでは」といった感想が聞かれ、地元農産物について知るきっかけになったようでした。

当普及センターでは今後も、食と農のつながりや大切さを伝える食育活動を支援していきます。



農業後継者組織の活動紹介

かすみがうら市4Hクラブ(いばらき農コン事務局)が農コンイベントを開催



マッチングパーティーの様子

かすみがうら市4Hクラブ(いばらき農コン事務局)は、平成二七年十月十八日に、つくば国際会議場で農コンイベント(婚活)を開催しました。このイベントは、県内の未婚の男性農業後継者と農業に興味のある女性を対象としており、県産農産物PRを兼ねて開催されました。

はじめに、各農業後継者のブースを女性がめぐり、農業後継者が自身の農産物や農業のこだわりをPRしました。次に、農業後継者と女性がテーブルを囲んでマッチングパーティーを行いました。会場では、県南地域の特産物を使った料理が振舞われました。

参加した女性からは「仲良くなった男性と県内で遊びに行きたい」「茨城の農業の魅力を知り、住みたいと思った」などの感想がありました。

土浦地域の農業後継者組織が
地域実需者と食農交流会を開催



地元農産物を使った料理と装花

土浦地域の農業後継者組織は、平成二七年十一月十七日に、地元ホテルと連携し、地元農産物の理解促進や飲食店やスーパーへの販路拡大を目的とした食農交流会を開催しました。

当日は、農業後継者四八名、実需者等二十名、関係機関一一名が参加し、農業後継者の農産物を使った料理を囲みながら、農産物や生産の取り組み紹介、販売・流通をテーマとした意見交換を行いました。

参加した実需者からは「農工商連携促進のため、このような顔を繋げられる機会がもっと増えると良い」との感想がありました。

当普及センターでは、今後も地域農業の活性化に向け、後継者組織活動を支援していきます。